

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和5年 7月 10日発行

令和5年度 コミュニティ・スクール(CS)研修会開催

日時 令和5年6月16日(金) 14:00~16:00

場所 雫石町中央公民館大会議室

講師 秋田県大館市立釈迦内小学校 校長 佐藤 潔 氏

今年度の雫石町CS研修会には、雫石町内各学校の学校運営協議会委員や民生委員、教育委員、学校関係者など40名が参加しました。

講師の佐藤潔先生は秋田県教育委員会、文部科学省で生涯学習を担当され、能代市立二ツ井小学校の校長として、地域と学校が目標共有し、WIN&WINの地域学校協働活動を実践しました。



(雫石町CS研修会の様子)

二ツ井CS(二ツ井小学校、二ツ井中学校)実践事業

「きみまちカンパニー」は小中学生がつくる持続可能な地域社会の創造を応援する企業

「きみまちカンパニー」設立(令和3年度)

〈佐藤潔氏作成図〉

地域を元気にする活動がしたい

社員は中学生(約120名)
小学5・6年生(約80名)

取締役会

社長・副社長・部長

社長

中学校生徒会長

副社長

小学校代表委員長

いとく

馬い井の
ブラッシュ
アップ

道の駅

お土産開発
と楽しいイ
ベント企画

企画開発

会社のロゴ
マークとス
イーツ開発

観光

地元の魅力
発信
観光ガイド

福祉

高齢者の生
活環境改善
サポーター

農林

おむすび権
米衛と商品
開発

少子高齢化、過疎化が進む二ツ井地域を持続可能にという地域課題と、「地域を元気にする活動がしたい」という生徒児童の想いから「きみまちカンパニー」を設立しました。活動のコンセプトは「生徒児童が楽しんで、地域と協働して行う活動にする」また、「起業」する学びの体験を通して、将来「起業」して町の活性化や雇用の場の確保に貢献してほしいという地域住民の願いも込められています。

いとく事業部③



(地元スーパーで販売したうまうま弁当)



地方食材・調理法部門
優秀賞

道の駅事業部



(道の駅で販売した恋文マドレーヌと



ラズベリージャム)

地域のみなさん、ありがとうございます！

七ツ森小学校スワンスロープ刈払い

6月24日(土)七ツ森小学校裏のスワンスロープの刈り払いが行われました。スワンスロープは七ツ森小学校の児童が冬場のスキー学習をするのに適した、なだらかな斜面が広がります。学校は地区回覧で地域にも呼びかけ、早朝6時からの作業にもかかわらず保護者の他、地域から3名の方が参加し、総勢11名で草刈り作業を行いました。

七ツ森小学校創立当初から続いているこの活動に、子どもが小学生だったころから参加している千葉清さんは、「以前は児童が飼っていた2、3頭の羊に草を食べさせていたこともあったよ」と教えてくれました。スワンスロープには松などの稚樹が植生していて、太くなる前に刈らないと危険で、児童がスキー学習を安全に行うためには欠かせない作業となっています。

今回は9月2日(土)に2回目の刈り払い作業が行われる予定です。



冬場は校舎の裏がゲレンデになります！

西山小学校5年生

家庭科裁縫ボランティア ~玉止めできたよ!~

6月26日(月)、30日(金)西山小学校5年生28名は、初めての裁縫の授業に臨みました。各日、2名の地域ボランティアの方が助っ人となり、玉結びや玉止めの仕方、波縫い、返し縫いを学習しました。

26日は、玉結びと玉止めに挑戦しました。最初は糸を「一本取り」で玉結びに挑戦していた児童でしたが、ボランティアの桐山桂子さんに「二本取りの方がやり易いよ」とアドバイスされ、いろいろなやり方を教わりました。

30日は、波縫いや返し縫い、かがり縫いに挑戦した児童。短い時間の中での一斉作業でしたが、ボランティアの方が個別に教えてくれたので、コツを掴んで楽しそうに作業する児童が増えました。坂下テイ子さんは「待ち針は、縫った先から抜いていくと手に刺さらないよ」とコツも教えてくれました。「私にできるかしら？」と不安だったボランティアの方も、「子どもたちがとてもかわいくて、楽しかった！」と教えることに手ごたえを感じていました。

玉止めはしっかり押さえてね



布を2枚重ねて縫うんだよ



待ち針は針山に戻してね



今回は小谷地和子さん、桐山桂子さん、坂下テイ子さん、堂前敏子さんに教えていただきました